EGUCHI HIROSHI
江口 博
リサーチ・アドミニストレーター

主活動テーマ

「産学連携を実施するための競争的資金の獲得」
「学内研究プロジェクトの組成・運営」

［キーワード］ 競争的資金，産学マッチング，産業クラスター

# 競 争 的 資 金 の 申 請 書 を 作 成 し て み ま し ょ う

活動紹介

**◆URA とは**

URA とは University Research Administrator の略で，研究活動の企画・運営・成果の発信まで，多種多様な業務に携わり大学全体の最適化を担う新しい職種です．教員や事務職員とは異なる職種と定義され「第三の職」とも呼ばれます．

我が国における URA は，2012 年に文部科学省が「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」を実施し，その後，各大学で設置が進められ，本学では 2016 年５月に設置し，私が初代 URA を拝命しました．

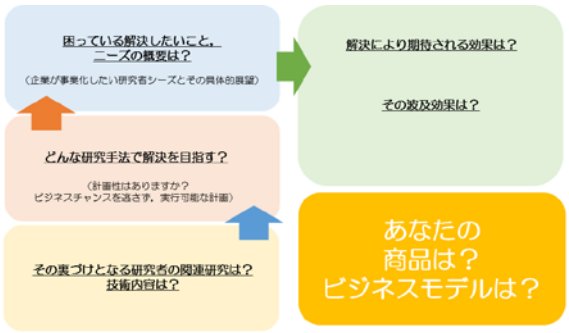
我々URA は本学の研究戦略を立案して参ります．この研究戦略は地域のネットワークとの連携を図りながらプロジェクト型研究を創出し，必要な施設の新設や有効利用を図ります．皆様のニーズと本学シーズを鑑みて更新していきますので，ご意見，情報をお待ちしています．

佐賀大学研究戦略マップ（2018 年４月）

**◆ツールとして競争的資金の申請書作成**

企業の皆様は，既に様々な面白いアイデアや技術を有しておられますが，ビジネスとして上手く機能できない現実も感じているのではないでしょうか．「製品は作れても商品にはならない」残念なケースです．このような場合など，ビジネス化に向けた商品開発などを，本学と連携し競争的資金へ挑戦することも可能です．

産学連携を条件とする競争的資金の申請には，技術の素晴らしさだけではなく，ビジネスとして魅力があるか？計画性は担保されているか？などを表現することが求められます．申請書を作成することで，自身の計画を俯瞰的に考えることができ，他者からの多様な意見を聞く機会となります．イメージする技術やアイデアに「合理性」と「魅力」を共存させるビジネスモデルにするために申請書の作成をツールとして活用することを提案します．




競争的資金申請整理図例（企業ニーズと大学シーズ）

**◆産学連携・地域連携**

産業界の皆様には，「ビジネスマインドを持って夢を紡ぐ場」として，本学を活用していただければと考えます．研究で得られる成果とは，人脈形成や人材育成，そして様々な情報も含まれます．地域の皆様と直接お会いさせていただき，「情報」と「人」を繋げるハブ機能として産学連携を構築していきたいと思います．

掲載情報平成 30 年６月現在

| 地域の皆様へ一言アピール | 我々，URA は地域の皆様から高い満足度を得られる「存在感のある佐賀大学」を目指して活動しています．地域連携・産学連携に関することは，気軽にお声がけください． |
|---|---|



（お問い合せ先） 国立大学法人 佐賀大学 リージョナル・イノベーションセンター
TEL：0952-28-8961 E-mail：suric@ml.cc.saga-u.ac.jp